



## 横浜税関における密輸摘発状況(令和3年上半期)

不正薬物全体の摘発件数、全国の約6割を占める  
覚醒剤は上半期で前年の押収量を上回る

### ➤ 不正薬物

不正薬物<sup>(\*1)</sup>全体の摘発件数は254件(前年同期比35%増、全国の約6割)と増加し、  
押収量<sup>(\*2)</sup>は約328kg(前年同期比65%減、全国の約5割)と減少した。

- (\*1) 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬(ヘロイン、コカイン、MDMA等)、向精神薬及び指定薬物をいう
- (\*2) 錠剤型薬物を除いたもの

### 1 覚醒剤

摘発件数は8件(前年同期比4倍)、押収量は約307kg(前年同期比約1.4万倍)と共に増加し、上半期で前年の押収量を上回った。

○令和3年4月、香港来商業貨物から覚醒剤約297kgを摘発。

### 2 大麻

- ・大麻草の摘発件数は39件(前年同期比約2.1倍)と増加し、押収量は約1kg(前年同期比82%減)と減少した。
- ・大麻樹脂等(大麻リキッド等の大麻製品を含む。)は、摘発件数は17件(前年同期比45%減)と減少し、押収量は約6kg(前年同期比4%増)と増加した。

### 3 麻薬

- ・MDMAの摘発件数は23件(前年同期比15%増)、押収量は約6kg(前年同期比約43倍)、約59,000錠(前年同期比約3.7倍)となり、共に増加した。

### 4 指定薬物

摘発件数は108件(前年同期比23%増)と増加し、押収量は約5kg(前年同期比97%減)と減少した。

密輸情報フリーダイヤル **0120-461-961**  
E-mail : yokohama-mitsuyu110@customs.go.jp

連絡・問合せ先  
横浜税関 調査部 特別審理官(第1担当)  
TEL045-212-6080

## 横浜税関における主な摘発事例（令和3年上半期）

### 【事例1】海上コンテナ貨物に隠匿された覚醒剤を摘発

令和3年4月、香港から到着した海上コンテナ貨物を検査したところ、レーザーマシン内に隠匿された覚醒剤約297キログラムを発見・摘発した。



### 【事例2】国際郵便物に隠匿された大麻を摘発

令和3年1月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された大麻約238グラムを発見・摘発した。



### 【事例3】国際郵便物に隠匿された液状大麻を摘発

令和3年5月、米国から到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された液状大麻約3.5キログラムを発見・摘発した。



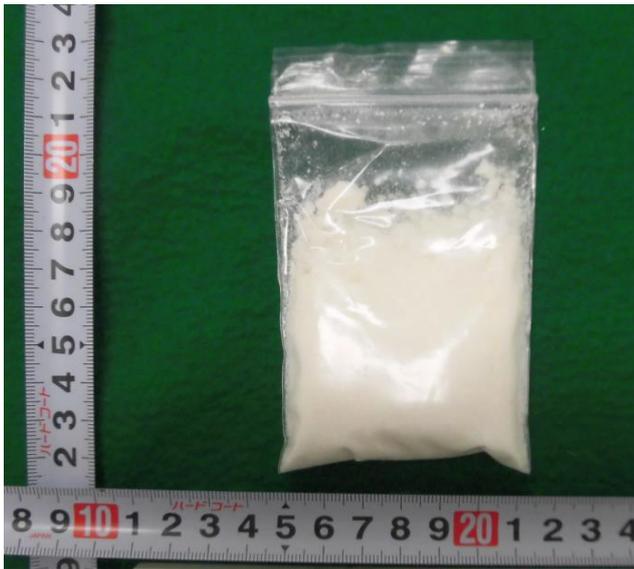
### 【事例4】国際郵便物に隠匿されたMDMAを摘発

令和3年4月、ドイツから到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠された麻薬であるMDMA合計約15,000錠を発見・摘発した。



**【事例5】国際郵便物に隠匿された覚醒剤及び麻薬を摘発**

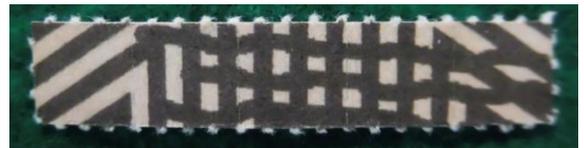
令和3年4月、オランダから到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された覚醒剤粉状物(24.29グラム)、LSD及び覚醒剤含有紙片(計0.14グラム)を発見・摘発した。



(表)



(裏)



**【事例6】国際郵便物に隠匿された指定薬物を摘発**

令和3年3月、台湾から到着した国際郵便物を検査したところ、郵便物内に隠匿された指定薬物である亜硝酸イソブチル6本(91.17グラム)を発見・摘発した。



# 【資料1】社会悪物品の摘発実績

種類	年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和3年		
				(1-6月)	(1-6月)	(1-6月)	(1-6月)	前年同期比	
覚醒剤	件	26	40	31	14	14	2	8	400%
	kg	843	183	58	3	301	0	307	1.4万倍
大麻	件	80	97	127	79	98	50	56	112%
	kg	3	10	34	26	22	11	7	64%
大麻草	件	49	45	47	34	42	19	39	205%
	kg	2	1	27	21	8	5	1	18%
大麻樹脂等	件	31	52	80	45	56	31	17	55%
	kg	1	9	7	5	15	6	6	104%
あへん	件	-	-	-	-	-	-	-	-
	kg	-	-	-	-	-	-	-	-
麻薬	件	121	143	125	90	92	47	81	172%
	kg	1	121	2	2	781	781	9	1%
	千錠	2	20	1	1	17	16	59	373%
ヘロイン	件	3	7	2	-	1	1	0	全減
	kg	0	0	0	-	0	0	0	全減
コカイン	件	14	27	11	6	8	3	6	200%
	kg	1	116	2	2	781	781	0	0.0%
MDMA等	件	45	44	53	39	43	20	23	115%
	kg	0	5	0	0	0	0	6	43倍
	千錠	2	20	1	1	17	16	59	373%
ケタミン	件	7	8	11	8	5	2	11	550%
	kg	0	0	0	0	0	0	0	215%
その他麻薬	件	52	57	48	37	35	21	41	195%
	kg	0	0	0	0	0	0	2	115倍
	千錠	0	0	0	0	0	0	0	100%
向精神薬	件	2	30	-	-	1	1	1	100%
	kg	-	-	-	-	-	-	-	-
	千錠	0	18	-	-	1	1	0	5%
指定薬物	件	135	126	97	46	226	88	108	123%
	kg	3	9	4	2	161	158	5	3%
合計	件	364	436	380	229	431	188	254	135%
	kg	851	323	99	33	1,265	949	328	35%
	千錠	2	38	1	1	19	17	59	350%

銃 砲	件	1	2	-	-	1	-	-	-
	丁	2	3	-	-	1	-	-	-
うち拳銃	件	1	1	-	-	1	-	-	-
	丁	2	2	-	-	1	-	-	-
拳銃部品	件	2	-	-	-	-	-	1	全増
	点	3	-	-	-	-	-	1	全増

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事件のほか、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものを含む。  
 2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計を示す。  
 3. 大麻樹脂等は、大麻樹脂のほか、大麻リキッド・大麻菓子等の大麻製品の合計を示す。  
 4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計を示す。  
 5. 端数処理のため数値が合わないことがある。  
 6. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。  
 7. 令和2年、令和3年の数値は速報値である。

## 【資料2】不正薬物の密輸形態別摘発件数

(件)

形態別	年				令和2年		令和3年	
	平成29年	平成30年	令和元年	(1-6月)	(1-6月)	(1-6月)	前年同期比	
航空機旅客による密輸	1	3	1	1	5	1	0	全減
国際郵便物を利用した密輸	359	426	376	225	418	182	249	137%
商業貨物を利用した密輸	3	6	3	3	8	5	5	100%
航空貨物	0	0	0	0	0	0	0	-
海上貨物	3	6	3	3	8	5	5	100%
船員等による密輸	1	1	0	0	0	0	0	-
合計	364	436	380	229	431	188	254	135%

(注)1.航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物には、別送品を含む。

2.端数処理のため数値が合わないことがある。

## 【資料3】不正薬物の仕出国別摘発件数（令和3年上半期）

仕出国等	オランダ	米国	スロバキア	台湾	フランス	ドイツ	イギリス	ベトナム	中国	その他	合計
摘発件数(件)	72	31	23	20	20	19	17	16	9	27	254
構成比(%)	28	12	9	8	8	7	7	6	4	11	100
前年同期比(%)	160	69	12倍	667	667	317	142	全増	16	193	135

(注)端数処理のため数値が合わないことがある。